

2024 年 7 月 5 日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者
 - ・氏名： 松永信一
 - ・年齢：
 - ・コールサイン： JI1LNP
 - ・連絡先 住 所：
 - ・メール：
 - ・（グループの場合）代表者以外の構成員の氏名・年齢：
2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）
 - B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイデア
3. アイディア名：無線体験・電子工作、最新A I を利用した魅力UP
4. アイディアの概要（200 字以内）：

特に児童生徒の時から無線体験運用に参加させる場の拡大と継続。イベントの機会に電子工作に触れさせる。YouTube TikTok Instagram など最近の若者はTVをは見なく、ほとんど携帯でこれらを見るかゲームをしています。つまらないTVを見るより自分の好きな、興味のある物を見ています。昔？最新で憧れだったアマチュア無線はこれらの最新インフラを使いその存在感をアピールする必要があると思います。
5. 詳細説明（図表を含めて 4 頁以内）：
6. 参考情報（任意）
 - ・参考資料：資料名 （PDF ファイルを添付）
 - ・Web 情報：タイトル、URL

アマチュア無線の魅力向上に向けて

かつてアマチュア無線は憧れであり時代の最先端を行っていた

アマチュア無線人口は日本の少子化と並んで激少をたどっています。

(最盛期 1995 年 約 136 万人 2023 年 約 37 万人 総務省)

私が無線に興味を持ったのが「私をスキーに連れてって」(1987 年)の映画でした。原田知世と三上博史のラブロマンスは憧れ?になりました。車上にスキー板を乗せ、無線で連絡し合う。スキー場にもハンディを必ず持っていきました。よく電波が飛んでいました。この時期はまだ携帯電話が出始めていたけど高価で車電話のアンテナも疑似アンテナが出回ったくらいですね。

率直に言って現在の携帯電話全盛にはそれに上回る「魅力」がないと誰も振り向かないと思います。最近、無資格の人でも有資格の人がそばにいて体験できる無線体験が多くなり、私は一番若い人?5歳児と交信しましたが、これは孫と話すように丁寧にやさしく話さないと通じません。まさに最初は何を話したらいいかとドキドキした無線取り立ての時の思い起こしました。私たちのクラブでも毎年区民祭でテントでブースを開設しています。昔、あるいは他の団体でやっているような、お年寄りがテントの中で、無線に夢中になってどなっている。そこへは皆さん近づくとどこか、怖くなり離れていきます。そのような状況だけは防ぎたい、そのため我々は小中生対象にラジオ製作(実際は数か所の半田付け体験)と無線体験ブースの2か所を設けて開催しています。これでどちらも毎年、列を作って目を見開き子供たちが待っています。小さな子供さんにはお父さん、お母さんも一緒につきそい、ほほえましく見えています。おそらく生まれて初めて半田ごてを持った。初めてマイクを持った貴重な体験だと思います。これはどの団体もこれからやれることだと思います。

その他には、先に挙げた「映画」ではないですが、TVなどともタイアップして無線機を効果的に使う場面を作る。決して携帯ではつながらない状態で、無線はつながる。またスティックな使い方などを費用が掛かっても制作する。最近、横浜市では「あぶない刑事」が横浜市だけを舞台に映画を創り、神奈川県警察からの表彰状も授与された記事がありました。警察と無線も深いかかわりがありますが、今回の探偵同志も使えますね。かなり、大きくキャンペーンしていたので費用も掛かったと思われます。CMにするのは費用がかかりすぎるならYouTubeに配信も可能ですね。多くの無線家が結構勝手な動画も配信しています。振興会だとそれらを多く下記の有名人を使って繰り返し配信するのはいかがでしょう。

無線免許を持っている俳優も多いです。あのタモリさんも立振キーをＴＶでたたっている番組を見ました。ＣＱ誌表紙にも出た（敬称略）「藤岡弘」「えなりかずき」「大村崑」「子門真人」「今井美樹」「辻 仁成」などなど起用してドラマの一シーンで使ってもらうとか。ＣＭは無理ならやはり YouTube TikTok Instagram！最近の若者はＴＶは見なく、ほとんど携帯でこれを見るかゲームをしています。つまらないＴＶを見るより自分の好きな、興味のある物を見ている。昔？最新で憧れだったアマチュア無線は最新のインフラを使いその存在感をアピールする必要があると思います。

(参考) 2023 区民祭り（横浜市都筑区）での児童生徒対象のラジオ製作と無線体験の様子

